

放課後子ども教室NEWS



こちらの二次元コードから、閲覧・ダウンロードができます →

だんごさし ~ あさひ放課後子どもクラブ ~

だんごさし ~ 団子や縁起物の飾り等をミズキの枝に飾り豊作等を願う小正月行事

1月20日(月)、只見町のあさひ放課後子どもクラブの活動を訪問しました。あさひ放課後子どもクラブは平日ほぼ毎日活動しており、毎回15名程度の児童が参加しているそうです。この日はだんごさしを行うイベント日ということもあり、低学年だけでなく中・高学年も含めた17名の児童が参加していました。会場となった朝日小学校の家庭科室と体育館では、5色に色づけされた色鮮やかなだんごの素を思い思いに成形し、茹であがったカラフルだんごを真剣な表情でミズキの枝に刺すあさひっ子達の姿が見られました。



【5色のだんごの素】



【ミズキの枝選び】



【真剣な表情で…①】



【それどうやって作ったの?】



【スタッフさんも大忙し】



【茹であがったカラフルだんご】



【食べちゃおうかな】



【真剣な表情で…②】

<子ども達の声>

- ・だんごを丸めるところやだんごを木の枝にさすところが楽しかったです。
- ・地球や猫の形のだんごを作りました。家に持って帰るので早くお母さんに見せたいです。



【スケジュール表示ボード】

1・2年生は学校でもだんごさしをやっていますが、校内に飾っていますので、子どもクラブでは自分で作ったものを自宅に持ち帰れるようにしました。

町内3地区で活用しています。これを見て子ども達が次の活動に向けて自主的に動くことも多いのだとか。ナイスアイデア!



コーディネーターの馬場さん

子どもクラブの活動と今回のだんごさしについてコーディネーターの馬場さんに話を伺うと、「子どもができそうな行事があるときは、その時期に合わせてなるべく活動に取り入れるようにしています。」と話してくださいました。古くから地域に伝わるこのような行事も、各家庭でやろうとするとなかなか難しいものです。今回のような体験活動を通して放課後子どもクラブは、子ども達に年中行事や習わしに対する理解と地域への愛着心を育む貴重な役割を果たしていると感じました。